

南魚沼市に暮らすしあわせ

移住・定住促進に関する情報や、実際の移住者の声をお届けします

【問合せ】 地方創生推進室 ☎773-6659

南魚沼市の魅力にひかれて、実際に移り住まれた人の声を紹介します。



移住したみなさんの声 (第3回)



山 健太郎さん〔石打〕

今回お話を伺ったのは、南魚沼市観光協会働く山 健太郎さんです。ふとしたきっかけで目の当たりにした雪国の冬景色に魅了され、移住することを決めた、踊りと祭りが大好きな青年です。話題のダンスユニット「MINAMI-UONUMA DANCE 7」の発案者でもあります。

Q 南魚沼市へはいつ移住して来ましたか？

A 平成25年7月に東京で勤めていた会社を辞め、観光コンシェルジュ(総合的な承り役)として、1ターンで移住しました。

Q なぜ南魚沼市での生活を選んだのですか？

A もともと新潟を含めた北陸地域に住んでみたいという気持ちを持っていました。6年前の年末に東京から新潟経由で関西方面に向っていたところ、雪の影響で電車が水上で止まり、そこから代替のタクシーで湯沢に向ったのですが、トンネルを抜けた瞬間の静寂と一面真っ白な雪景色に言葉を失い、ただただ感動しました。あんなに雪が降っている景色を見たのは人生初でした。そのことがとにかく印象的で、その後に3回新潟を訪れて、住んでみたいという気持ちが強まりました。まさに人生の転換期だったと思います。

Q 南魚沼市で暮らす魅力は？

A 都会での生活で感じていた渋滞や混雑、待つといったストレスがないことです。最近よく思うのは、すぐそばにすばらしい山々があることです。この景色はいつ見ても感動します。地域の人たちも、それぞれ慣れ親しんでいる山があって楽しんでいる。あとは気候ですね。夏の朝晩の涼しさは、本当にありがたいです。そして、静寂に包まれた冬、その世界観が心地よくて大好きです。車の運転を除けば、生活する上で雪に対する不安は全くないです。

Q 生活の中で特別な「こだわり」があれば教えてください。

A 「もの」をあまり持たないことです。歌であったように「トランク一つだけ」で生活したいと思っています。でも今は難しいので軽自動車1台で荷物が収まる生活を目標に、パソコンとスマートフォン、インターネット環境があればいいかなという感じで、テレビも洗濯機も冷蔵庫もない生活をしています。



もう一つは、毎日温泉に入ることです。一日の終わりに温泉に入れば、その日はそれだけで100点満点です。

Q これから南魚沼市で暮らそうと考えている人に、アドバイスをください。

A 来てみてすぐ「ダメだ合わない」ではもったいないので、長い目で見て住んで欲しいです。お試しという感覚でもよいので、まず訪れてこの地しかないとは決めずに、気づいたら長く住んでいたという感じでよいと思います。この地の春夏秋冬のいろいろな面を見て、それから決めてもよいと思います。とにかく短期間の滞在で決めないでほしいと思います。



わかまち
カフェ

若者まちづくり会議～「若者力あふれるまちをめざして」～

住み続けたいまち「南魚沼」を一緒に考えませんか？

【問合せ・申込み】 地方創生推進室 ☎773-6659

若者まちづくり会議に参加いただける市内在住・勤務の若者(40歳以下)を募集します。明日の南魚沼市のまちづくりを、一緒に考えてみませんか？

日時 9月24日(土) 14:00～17:00

会場 ふれ愛支援センター2階 多目的ホール

定員 40人(達し次第締切り)